

農業
振興課

本市から17頭が県代表に！

全国和牛能力共進会(種牛の部)出場牛決定！



会場の様子



審査風景

第11回全国和牛能力共進会広島県最終選抜会(種牛の部)が6月13日、三次家畜市場で開催され、庄原市から17頭が選抜されました。

本市からは25頭が候補牛として出品され、審査の結果、種牛の部広島県出品枠の19頭中、17頭が県代表牛として選ばれました。

第11回全国和牛能力共進会は、9月7日(木)～11日(月)に宮城県で開催される、5年に一度の大イベントで、和牛のオリンピックといわれています。

平成25年度から市や庄原農業協同組合など関係機関で対策協議会を設立し、庄原市を和牛産地として全国に知らしめようと、大会に向けた取り組みを進めています。

なお、肉牛の部の出場牛は7月下旬に決定する予定です。

出品区	名号	住所	出品者
第1区(若雄)	大柴1	所有者：広島県畜産技術センター	管理者：羽賀 徹(東城町)
第2区(若雌の1)	かきうち79の5	比和町	垣内 とみこ
第3区(若雌の2)	28ちかひらきた	尾引町	近藤 丈登
第4区(系統雌牛群)	いとしげひら11	東城町	見川 昇
	つくし359	尾引町	(株)藤谷上川畜産
	つくし358	比和町	三谷 美登
	えぼしよこたや2	高野町	中市 圭祐
第5区(繁殖雌牛群)	まいこ	上原町	廣谷 信行
	よしなみ9	口和町	藤山 明春
	ながおか7	東城町	清水 充
	むらた1	西城町	田平 訓三
第6区(高等登録群)	どいばら4の14	峰田町	大迫 晴由
	どいばら4142	峰田町	大迫 一三
	どいばら3	峰田町	大迫 貴史
第7区(総合評価群)	しばふく	西本町	広島県立庄原実業高等学校
	どいばら4の10	峰田町	大迫 晴由
	かず	上原町	廣谷 信行

商工
観光課

新社会人の輪を広げよう！

新社会人交流会



講演を行う先輩社会人

庄原市新社会人交流会実行委員会が主催する「新社会人交流会」が5月27日、庄原グランドホテルで開催されました。

庄原市で働く新社会人同士のつながりを深めることで、就業後の不安を解消してもらおうと企画され、30人が集まりました。

第一部の研修会では、木山耕三市長からの激励、先輩の体験談や、ベテラン社会人からのアドバイスを受け、第二部の交流会では、ゲームなどで盛り上がりました。

参加者のアンケートからは、「講師の方の情熱が感じられてよかった」「違う職場の近い年齢の人と交流できてよかった」といった声が多く見られました。新社会人の庄原市での一歩を祝うイベントとして、参加者同士の絆をつなぐよい機会となりました。

この交流会をきっかけに、新社会人の庄原市での活躍が期待されます。

海外の子どもたちがさとやま体験

台湾の高校生が民泊体験



受け入れ家庭と交流する生徒たち(写真上)
最後はみんなで記念撮影(写真下)

庄原市さとやま体験交流協議会は5月23日、24日、台湾の国立新竹高級中学の生徒68人の民泊を受け入れました。

生徒たちは「日本国際教育旅行」による5泊6日の行程のうち1泊2日を高野町と比和町の20家庭に分かれて滞在し、受け入れ家庭から指導を受けながら、農業体験や調理体験などを行いました。

最後のお別れ式では、生徒たちから「言葉が通じなくても、受け入れ家庭にやさしく接してもらってうれしかった」「はじめての日本の料理はとてもおいしかった」「日本の田園の風景はとても素晴らしかった」といった感想がありました。

生徒たちと交流した受け入れ家庭からは「最初は意思疎通が難しかったが、一緒に過ごす中でジェスチャーや片言でも通じるようになり、楽しく交流することができた。



「海外の生徒を受け入れることへの不安もあったが、終わってみると非常に楽しかった。次回も受け入れてみたい」などの感想があり、それぞれの家庭で充実した時間を過ごすことができました。

庄原産品の販路拡大を目指す

ギフト商品開発セミナー



坂さんがギフト商品について紹介

庄原観光いちばん協議会が主催する「ギフト商品開発セミナー」が、第1回を5月17日・18日、第2回を6月7日・8日、庄原・高野・東城の3会場で開催され、延べ64人が熱心に受講しました。

このセミナーは、県下最大級の生産量を誇る食材の宝庫・庄原の強みを生かして開発した庄原市の逸品などの新たなギフト作成や、既存ギフトの見直しなど、庄原産品の販路拡大を目指して実施しました。

このセミナーでは、「庄原市の逸品づくり事業」や「高野の逸品100プロジェクト」をコーディネートした碓孝洋さんが、ギフト作成に欠かせない最新情報を織り交ぜながら、商品のセレクト、ギフトボックスや価格帯など基礎から説明。「自分がギフトを贈るときに何を優先順位で考えているか、視点を考えてみると商品を作る参考になる」と指摘しました。

また、第2回のセミナーでは、参加者は商品を選び、テーマと価格帯を決め、オリジナルギフトを発表しました。参加者からは「第1回で学んだポイントを踏まえながらギフトを作成したが、テーマや価格を考えながら作成するのは大変だった」「いろいろな人の作成したギフトを見て、考え方の参考になった」と話していました。今回のセミナーの受講者は、新たなギフト商品の開発に取り組んでいます。



オリジナルギフトを発表する参加者

庄原観光いちばん協議会では、引き続きギフト商品の開発のエントリーを募集しています。興味のある方は、商工観光課までお問い合わせください。

問い合わせ
庄原観光いちばん協議会事務局
(商工観光課内)
☎0824・73・1179

庄原ならではの味を開発するために

ご当地グルメ開発ワークショップ



会場の様子

庄原観光いちばん協議会は、外国人観光客をはじめとする来訪者が食べに行きたいと思えるメニューなど、地元農畜産物を使った庄原ならではの「ご当地グルメ」を開発するために、市民ワークショップを6月8日に食彩館しょうばらゆめさくらで開催しました。

参加者は3グループに分かれて「旅行に行ったら何を食べる?」「こんな料理の美味しい物って何?」「こんな料理を庄原で食べたい!」など、アイデアを出し合いました。今後のワークショップでは、素材や料理のコンセプトについて、さらにアイデアを出し合っていきます。また、市民ワークショップのアイデアを元に、市内料理人のワークショップを行う予定です。

近年の宿泊旅行調査により、旅行の目的や、旅行先での満足度の要因の第一位が「地元のおいしいもの」となっています。庄原市は県内最大級の生産量を誇る農畜産物やブランド力のある産品が豊富で、おいしいものの宝庫です。庄原の「おいしい」を多くの人に知ってもらいたく、今後のワークショップで、多くの店舗で提供できる「ご当地グルメ」の開発を進めていきます。

成功の秘訣は「聞き方」にあり

しょうばら縁結び事業/男性セミナー

男性を対象にした第1回「聞き方・話し方セミナー」を6月11日、市役所で開催し、20〜40代の男性20人が参加しました。

結婚相談所「M3」コンシェルジュの和真由美さんを講師に、仕事にも恋愛にも役立つコミュニケーションのコツや第一印象の極意を学びました。和田さんは日頃独身者の相談を受けているということもあり、実体験を基にした会話術や、日々の生活の中で簡単に練習できる印象アップの方法などを伝授。講義後には自分の悩みを個別で相談する姿も見受けられました。

参加者からは「女性目線の話が聞けて参考になった」「実際に試して成果を出したい」と好評で、講義後には自信に満ち溢れた表情で会場をあとにする姿が印象的でした。

今後のセミナー情報などは、しょうばら縁結びホームページ(<http://shobara-ennsubi.jp>)をご覧ください。

女性心理のつかみ方を説く和田さん



女性心理のつかみ方を説く和田さん

陸上競技の技術向上にむけて

レベルアップスポーツ教室



ハードル走の練習

スポーツ技術の向上を目指したレベルアップスポーツ教室陸上競技教室を6月10日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開催しました。

本年度10回目となるこの教室に、市内小学生42人が参加し、参加者はそれぞれの種目(短距離走・長距離走・ハードル走・走り幅跳び)に分かれ、講師から基本動作や練習法などを学び、参加者は楽しくも真剣に取り組んでいました。

ハードル走に参加した荒木優奈さん(美古登小6年生)は、「6月17日開催の庄原市小学校陸上競技記録会に向けて勉強になった」と話していました。

本年度、レベルアップスポーツ教室は、陸上競技教室をはじめ、卓球教室、競泳教室、バレーボール教室、フットサル教室、スキー教室、バスケットボール教室を行う予定です。



参加者全員で50メートル走の計測



長距離走の練習